

グループ学習室で英語討論

西九州大神埼キャンパス



ALSで行われた討論イベント。学生らがホワイトボードに意見を書く

グループ学習用の教室「アクティブラーニングスタジオ(ALS)」を会場に、学生らが英語を使って討論するイベントが15日、

神埼市の西九州大神埼キャンパスで開かれた。学生らはグループを組んで積極的意見交換していた。同大によると、ALSは

東大などで導入されており、西九州大は昨年11月に開館した校舎に設置。いくつかの机を組み合わせて自由にレイアウトできる勾玉型の机や、スクリーンが前面だけでなく右方向にもあるなど工夫されている。教員らのモバイル端末と連動できるプロジェクターなどもあり、本格的な整備は県内初という。

イベントは、学生の国際交流への関心を高めようと同大などが企画。高校生と大学生計22人が参加し、自身の学校生活や、「世界で一番誇れる食は日本食か」などのテーマについて、意見を自由に書けるホワイトボードを手元に置いて英語で議論を交わした。

西九州大1年の荒巻日向子さん(19)は「初めてALS

S教室を使ったが、一方向だけでなく多くの方向を見ながらの勉強になった。グループ学習がしやすく、活発な議論ができた」と話していた。